

# 特別委員会報告

## 競馬事業調査特別委員会

12月13日の委員会では、市長及び担当職員のほか、岩手県競馬組合から常勤副管理者等が出席し「平成24年度の決算について」「現在までの開催状況等について」を調査しました。

平成24年度の岩手競馬発売額は、IPAT発売開始によるインターネッ

ト発売の増と開催日数の増により一般発売が増加最終計画額を1億2800万円余上回る182億5500万円余となり、平成23年度とほぼ同額の約8700万円の当期利益を確保することができました。

堅調に推移している岩手競馬ですが、平成22年度から5年間、地方競馬全国協会1号交付金の猶予を受けており、平成

27年度以降の10年間、本来の交付金のほかに追加交付していく予定となっていることから、安定的な競馬事業運営の継続と更なる強固な経営体質の実現が求められておりました。



安定的な競馬事業運営を

## 東日本大震災調査特別委員会

12月11日の委員会では、市長はじめ担当職員が出席し「農林業系副産物焼却処理等円滑化事業に係る前処理施設設置の進捗状況と今後の対応について」「共同仮置場設置に係る進捗状況について」調査しました。

農林業系汚染廃棄物の焼却処理の対応については、地権者及び周辺住民

と現在調整を行なっており、年度内の本格焼却を目指し準備を進めておりました。

汚染土共同仮置場設置については、水沢区の2地区で住民合意が図られ、年度内での工事着工・完了に向け取り組んでおりました。

放射性汚染廃棄物焼却処理の作業においては、作業者の安全確保や運搬時の飛散防止対策、共同仮置場の未合意地区に対

する積極的な働き掛けの必要性など意見が出されました。



汚染土仮置場設置に向けた住民説明会

# 行政視察報告

## 議会運営委員会

\*視察日：平成25年10月16日・18日

\*視察先：

東京都町田市  
長野県飯田市  
長野県須坂市

「町田市議会」「電子表決システムの導入」「ホームページのリニューアル」「参考人制度の活用」について

町田市議会は、議会改革に活発に取り組んでおり、日経グローバルの議会改革全国調査では上位にランキングされています。平成24年の新庁舎への移転に伴い、議席にある「賛成」と「反対」の2個のボタンによる「電子表決システム」を導入しています。

また、議会活動内容を、市民により詳しく伝えるため、ホームページも大きくリニューアルしました。特に、「議会のカルテ」の掲載については、議会報告会を行って

いないことから、議会の審議・審査内容を市民に報告するため、提出議案や請願などの質疑応答や討論の内容をはじめ、審査結果、議決結果、議案の内容に至るまでを掲載しておりました。

議会の議決事項の拡大については、「市の基本構想」について追加する条例を委員会提案で可決し、議会自らが議決の拡大を行っておりました。

「飯田市議会」「議会の行政評価」「議会運営ビジョン」について

飯田市議会で実施している「行政評価」ですが、常任委員会単位で所管事務調査として行っており、執行機関から提示された行政評価に必要な関係資料とデータを基に、集中協議を行い、事務事業単位で事業の評価を行っていました。常任委員会ごとの十分な議員間討議を踏まえて行われ、ほとんど通年議会と考えるようなスケジュールをこなした。

ており、活発な委員会活動が議会の活性化に不可欠であることを感じました。

今後の議会改革の取り組みの方向性を明らかにした「議会改革・運営ビジョン」をまとめ、ビジョンの実現に向け議会改革推進会議が設置され、議会改革全般について進行政管理を行っておりました。

「須坂市議会」「請願、陳情者による趣旨説明の制度化」「予算、決算特別委員会の通年設置」について

「請願、陳情者による趣旨説明の制度化」は、平成22年から請願者の希望により、委員会に出席し趣旨説明を行うことが出来ることとなり、あえて趣旨説明としての機会を設けることにより、参考人制度より垣根が低くなり請願者である市民が出席しやすくなったとのことでした。

奥州市議会においても、さらなる議会改革、議会の活性化に全議員が強く意識し取り組んでいくことの必要性を感じました。